

政策分野	006	地域経済	政策項目	001	コミュニティ活動	施策	001	コミュニティ活動の支援	担当課	企画財政課企画グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
132	町民主体の地域づくり活動を支援します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8)目標値	後期(R12)目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I まち協連絡会議数(単位:回)	0	1	1	0	0	0		0%	I 毎年1回開催し、各まち協の現状を把握し、必要な支援につなげる
	II まちの魅力アップ応援事業周知回数(単位:回)	2	2	2	2	2	2		100%	II 町民への周知(広報掲載、HPの更新)を徹底することで、まちの魅力アップ応援事業の活用団体を増やす
成果指標	I まちづくり地域交付金活用団体数(単位:団体)	8	10	10	8	9	9		90%	I まちづくり地域交付金の活用団体を増やすことは、団体や地域の活性化につながり町民主体の魅力あるまちづくりが推進できる(まち協:10団体うち1団体休止中) ※R3はコロナ禍により8団体の活用
	II まちの魅力アップ応援事業活用団体数(単位:人)	2	5	5	7	5	6		120%	II まちの魅力アップ応援事業の活用団体を増やすことにより、町民主体の魅力あるまちづくりの推進を図ることができる(R1:5団体)

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	まちづくり地域支援職員を配置したほか、まちづくり地域交付金の交付を行い、活動中の全てのまちづくり協議会に対する活動支援を行った。まちの魅力アップ応援事業については広報誌及びホームページへの掲載により町民周知を行ったほか、5件の団体に対して当該事業交付金の交付を行い、町民団体のまちづくり活動を支援した。
施策の分析(目標達成・未達成に関する要因分析)	活動指標Iについては、上期においては実施に至っていない。活動指標II及び成果指標については、それぞれ上期において概ね達成できている。このうち成果指標IIにおいては下期でも数件の団体が申請を予定しており、これまでの実績や広報周知により事業の認知が高くなっているものと考えられる。
課題・問題点	まち協連絡会議については前回の開催から複数年が経過しており、開催目的や協議内容を精査する必要がある。まちづくり地域交付金については、コロナ禍後の活動再開や役員改選等により、事業実施や活用方法に対する理解の低下がみられる。まちの魅力アップ応援事業については認知が高くなっている一方で、既存イベントへの充当など誤認により目的や要件に合致しないケースもみられる。

今後の展開・方向性(国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	まちづくり協議会については、まちづくり地域支援職員に対する活動状況のヒアリングと情報共有を行いながら、各協議会のニーズ把握や課題を整理し、そのうえで次年度以降における、まち協連絡会議の再開や交付金活用の充実化を図っていく。 まちの魅力アップ応援事業については、広報周知における情報発信の工夫と、活用希望団体の事前相談時における制度説明を徹底し、事業目的としている町民団体相互の連携による新たな活性化事業の支援であることを維持しながら、より満足度の高い制度となるような改善を検討する。
--	--

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価(担当課長)	①計画通りに進める まちづくり協議会に関して組織によっては取組内容の固定化が見られる。相互の情報共有と活動活性化を目的に連絡会議を開催し意見交換の場を設けること。その際、交付金制度に係る意見聴取を行い制度見直しに関する検討を進めること。また、まちの魅力アップ応援事業は、制度趣旨や活用事例の周知を積極的に行うとともに、過去の活用団体へニーズ調査等を行うなど、町民活動の活性化と町民主体の魅力あるまちづくりの推進に資する支援内容とすべく見直しを検討すること。
2次評価(副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価(町長)	※評価対象外